

My Docs

MkDocs

Project documentation with Markdown.

はじめに

注意書き等~~~~~

目次

| | |
|--|----|
| 1. Welcome to MkDocs | 4 |
| 1.1 Commands | 4 |
| 1.2 Project layout | 4 |
| 2. mkdocs-with-pdf | 5 |
| 2.1 環境構築 | 5 |
| 2.2 表紙をつける | 5 |
| 2.3 表紙をカスタマイズする | 6 |
| 2.4 表紙の次に注意書き等のページを差し込む | 8 |
| 2.5 PDF出力用のスタイルシートを指定する | 8 |
| 2.6 見出しのボーダーカラーを変更する | 8 |
| 2.7 目次へ出力する見出しレベルを指定する | 9 |
| 2.8 PDF出力用のHTMLを確認する | 10 |
| 2.9 2カラム構成で出力する | 10 |
| 2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する | 11 |
| 2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する | 11 |
| 2.11 各ページにロゴを表示する | 12 |
| 2.12 裏表紙をカスタマイズする | 12 |

1. Welcome to MkDocs

For full documentation visit mkdocs.org.

div_pre_pdf_render

1.1 Commands

- `mkdocs new [dir-name]` - Create a new project.
- `mkdocs serve` - Start the live-reloading docs server.
- `mkdocs build` - Build the documentation site.
- `mkdocs -h` - Print help message and exit.

div_pre_pdf_render

1.2 Project layout

```
mkdocs.yml    # The configuration file.
docs/
  index.md    # The documentation homepage.
  ...        # Other markdown pages, images and other files.
```

2. mkdocs-with-pdf

`mkdocs-with-pdf`を使用して、ドキュメントをPDFとして出力することができます。

`div_pre_pdf_render`

2.1 環境構築

WeasyPrintに依存してるので、事前に環境構築が必要。

https://doc.courtbouillon.org/weasyprint/latest/first_steps.html#linux

インストールする。

```
pip install mkdocs-with-pdf
```

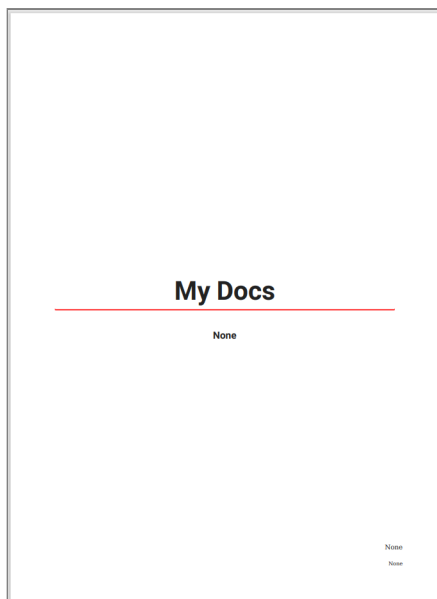
プラグインを有効にする。

```
plugins:  
- with-pdf
```

`div_pre_pdf_render`

2.2 表紙をつける

```
plugins:  
- with-pdf:  
    cover: true  
    cover_title: My Docs
```



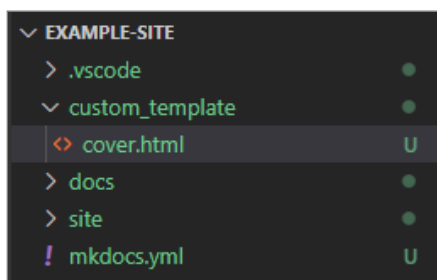
div_pre_pdf_render

2.3 表紙をカスタマイズする

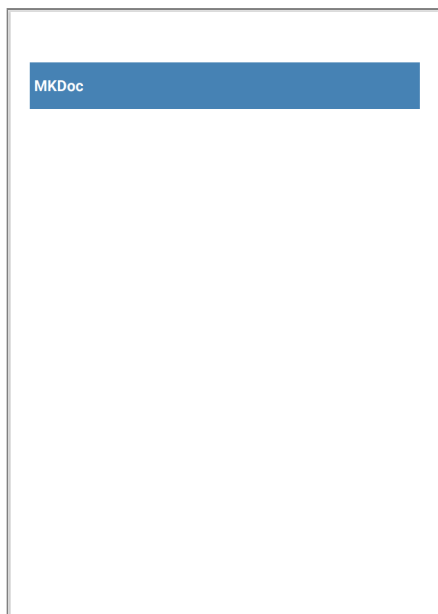
表紙用のHTMLを差し込むことができます。

custom_template_pathで指定したディレクトリー内に、cover.html を配置します。

```
plugins:
- with-pdf:
  cover: true
  custom_template_path: custom_template
```

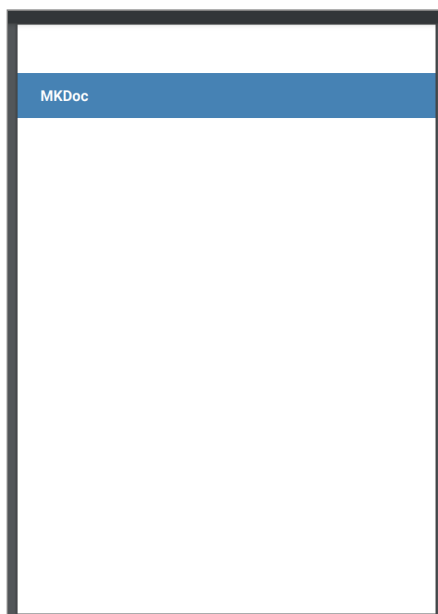


```
<!-- 表紙 -->
<div style="background-color: steelblue; padding: 0.5em;">
  <h1 style="color: white;">MKDoc</h1>
</div>
```



デフォルトで余白が設定されているので、帯状に塗りつぶしたい場合、`margin` をマイナスに設定して描画領域を調整します。

```
<!-- 表紙 -->  
<div style="background-color: steelblue; padding: 0.5em 0.5em 0.5em 3.5em; margin: 0 -3em;">  
  <h1 style="color: white;">MKDocs</h1>  
</div>
```



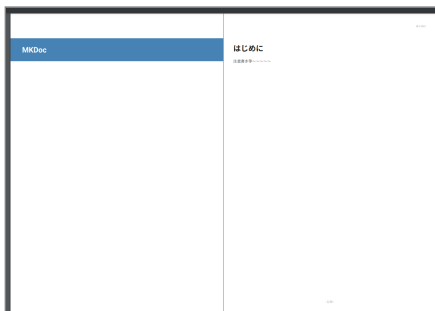
div_pre_pdf_render

2.4 表紙の次に注意書き等のページを差し込む

cover.html 内で改ページを指定することで、2ページ以降にも任意のページを差し込むことができます。

```
<!-- 表紙 -->
<div style="background-color: steelblue; padding: 0.5em 0.5em 0.5em 3.5em; margin: 0 -3em;">
  <h1 style="color: white;">MKDocs</h1>
</div>

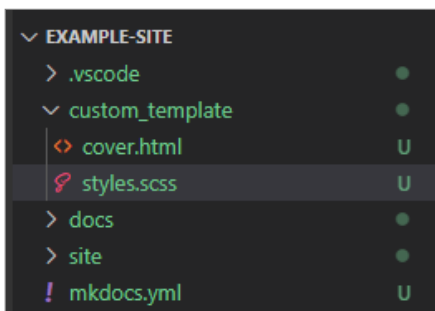
<!-- 注意書き -->
<div style="page-break-before: always;">
  <h1>はじめに</h1>
  <span>注意書き等~~~~~</span>
</div>
```



div_pre_pdf_render

2.5 PDF出力用のスタイルシートを指定する

custom_template_pathで指定したディレクトリー内に、styles.scss を配置します。



div_pre_pdf_render

2.6 見出しのボーダーカラーを変更する

テーマを指定するようなオプションはないので、styles.scss内でスタイルを指定します。

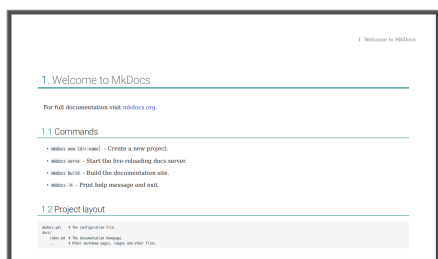
```
$mainColor: #177e7e;
$subColor: rgba($mainColor, 0.85);

article {
```



```
h1 {
  border-bottom: 2px solid $mainColor !important;
}
h2 {
  border-bottom: 1px solid $subColor !important;
}
h3 {
  border-bottom: 0.5px solid #eee;
}
h1>.pdf-order,
h2>.pdf-order,
h3>.pdf-order {
  padding-left: 6px;
}

.pdf-order {
  color: $mainColor !important;
}
```



div_pre_pdf_render

2.7 目次へ出力する見出しレベルを指定する

目次へ出力する見出しのレベルを指定することができます。

```
plugins:
- with-pdf:
  toc_level: 3
```

toc_level: 3 にすることで、見出しレベルが3（###）の項まで目次へ出力されます。

| 目次 | |
|---|----|
| 1. Welcome to MkDocs | 4 |
| 1.1 Commands | 4 |
| 1.2 Project layout | 4 |
| 2. mkdocs-with-pdf | 5 |
| 2.1 環境構築 | 5 |
| 2.2 直観をつける | 5 |
| 2.3 直観をカスタマイズする | 6 |
| 2.4 直観の次に注意書き等のページを差し込む | 7 |
| 2.5 PDF出力用のスタイルシートを設定する | 7 |
| 2.6 見出しのボーダーカラーを変更する | 8 |
| 2.7 目次へ出力する見出しレベルを設定する | 8 |
| 2.8 PDF出力用のHTMLを確認する | 9 |
| 2.9 スケラム構成で出力する | 9 |
| 2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザを確認する | 9 |
| 2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する | 10 |

div_pre_pdf_render

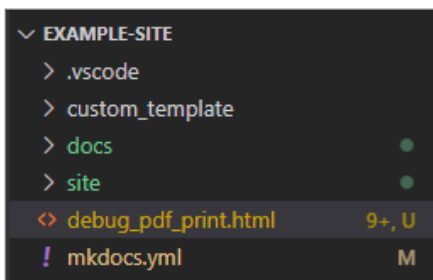
2.8 PDF出力用のHTMLを確認する

スタイルを拡張する際、要素の構造や、属性等確認したい場合があります。オプションを `debug_html: true` とすることで、PDF出力用のHTMLがログ出力されるようになります。

```
plugins:
- with-pdf:
  debug_html: true
```

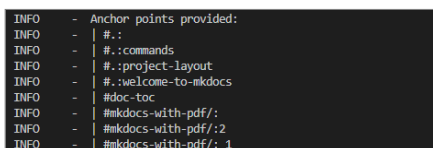
`pretty-print`等のオプションはないので、`html`として書き出し、フォーマットをかけて確認するとわかりやすいです。

```
mkdocs build > debug_pdf_print.html
```



見出しへ付与されたアンカーを確認したい場合は、`show_anchors: true` とすることで、ログへ一覧が出力されます。

```
plugins:
- with-pdf:
  show_anchors: true
```



`div_pre_pdf_render`

2.9 2カラム構成で出力する

2カラム構成で出力する見出しレベルを指定することで、そのレベル以下は2カラムで出力されるようになります。

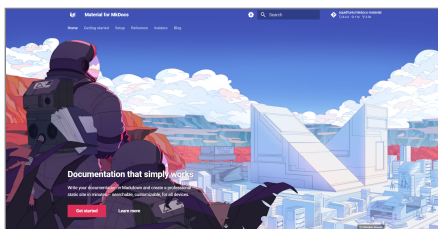
```
plugins:
- with-pdf:
  two_columns_level: 3
```

2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザを確認する

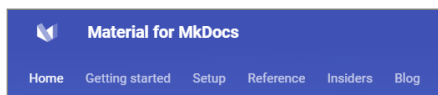
この項は、見出しレベルが3（###）なので、2カラム構成で出力されます。

```
### Material for MkDocsのサポートブラウザを確認する
この項は、見出しレベルが3なので、2カラム構成で出力されます。
```

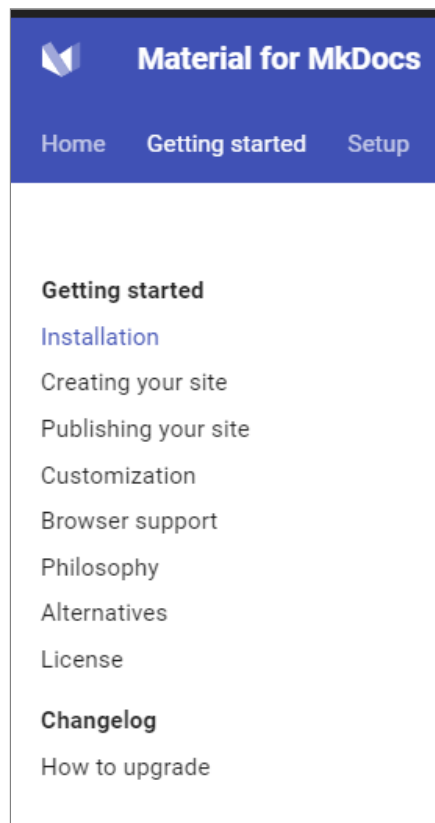
Material for MkDocsの製品サイトへアクセスします。



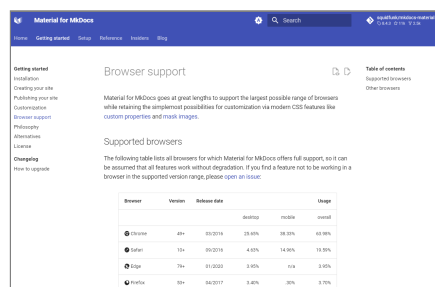
Getting startedをクリックします。



左側のメニューからBrowser supportへ移動します。



対応ブラウザと各バージョンを確認します。



こんな感じのちょっとしたフローは2カラム構成のほうが無駄なスペースを消費せず見やすい。

div_pre_pdf_render

2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する

オプションで、除外したいファイル/ディレクトリを指定します。

MkDocsのオプションで `use_directory_urls: false` としている場合

```
plugins:
- with-pdf:
  exclude_pages:
  - 'mkdocs-with-pdf-output.html'
```

MkDocsのオプションで `use_directory_urls: true` としている場合

```
plugins:
- with-pdf:
  exclude_pages:
  - 'mkdocs-with-pdf-output/'
```

`div_pre_pdf_render`

2.11 各ページにロゴを表示する

特にオプションはないので、スタイルで指定します。 [CSS Paged Media Module Level 3](#)
`styles.scss`

```
@page:first {
  @top-left {
    content: '';
  }
}

@page {
  @top-left {
    opacity: .6;
    transform: translateX(-150px) scale(0.3);
    content: url(data:image/png;base64,.....);
  }
}
```

表紙をのぞいた各ページの左上にロゴが表示されます。



`div_pre_pdf_render`

2.12 裏表紙をカスタマイズする

裏表紙用のHTMLを差し込むことができます。

オプションで `back_cover: true` を設定し、`custom_template_path`で指定したディレクトリー内に、`back_cover.html` を配置します。

```
plugins:
- with-pdf:
```

```
back_cover: true  
custom_template_path: custom_template
```

back_cover.html

```
<!-- 裏表紙 -->  
<div class="back-cover-page">  
</div>
```

不要な情報があればスタイルで無効化します。

styles.scss

```
.back-cover-page {  
  page: back-page;  
  page-break-before: always;  
}  
  
@page back-page {  
  @top-right {  
    content: none;  
  }  
  @top-left {  
    content: none;  
  }  
  @bottom-center {  
    content: none;  
  }  
  @bottom-right {  
    content: none;  
  }  
}
```

